



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社今仙電機製作所  
 コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 櫻井孝充

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 奥田朋近

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	84,166	6.4	2,077	34.5	2,105	35.1	1,357	41.1
2019年3月期第3四半期	89,908	4.9	3,172	45.2	3,244	40.8	2,303	47.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,092百万円 (34.4%) 2019年3月期第3四半期 813百万円 (70.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	65.25	
2019年3月期第3四半期	110.79	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	81,373	51,124	62.5	2,442.00
2019年3月期	84,151	50,676	59.8	2,421.26

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 50,822百万円 2019年3月期 50,347百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		16.00		16.00	32.00
2020年3月期		16.00			
2020年3月期(予想)				17.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	5.5	3,000	19.8	3,100	16.0	2,100	15.1	100.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	21,341,152 株	2019年3月期	21,341,152 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	529,319 株	2019年3月期	547,393 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	20,803,801 株	2019年3月期3Q	20,793,841 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う個人消費の影響等があったものの、雇用・所得環境の改善が続いたことにより、緩やかな回復基調で推移しました。海外においては、米中貿易摩擦の長期化による影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いています。

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は84,166百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は2,077百万円（前年同期比34.5%減）、経常利益は2,105百万円（前年同期比35.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,357百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、北米、中国での減産などにより、売上高は81,259百万円（前年同期比6.6%減）となり、営業利益は2,061百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

#### (b) ワイヤハーネス関連事業

工作機械関連の受注が減少したことにより、売上高は2,155百万円（前年同期比1.2%減）となりましたが、航空機関連の収益が回復したことにより、営業利益は28百万円（前年同期比72.1%増）となりました。

#### (c) 福祉機器関連事業

電動車いすの販売が減少したことなどにより、売上高は752百万円（前年同期比2.4%減）、営業損失は22百万円（前年同期は28百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (イ) 資産

当第3四半期末における総資産は、81,373百万円（前期末比2,778百万円の減少）となりました。流動資産は、現金及び預金の減少（1,154百万円）、受取手形及び売掛金の減少（798百万円）などにより、51,705百万円（前期末比2,105百万円の減少）、固定資産は、有形固定資産が減少（863百万円）したものの、投資有価証券の増加（196百万円）などにより、29,668百万円（前期末比672百万円の減少）となりました。

##### (ロ) 負債

当第3四半期末における負債は、30,248百万円（前期末比3,226百万円の減少）となりました。流動負債は、短期借入金の減少（135百万円）、賞与引当金の減少（718百万円）などにより26,054百万円（前期末比1,522百万円の減少）、固定負債は、長期借入金の減少（1,182百万円）などにより4,194百万円（前期末比1,704百万円の減少）となりました。

##### (ハ) 純資産

当第3四半期末における純資産は、利益剰余金が増加（759百万円）したものの、為替換算調整勘定の減少（400百万円）などにより51,124百万円（前期末比448百万円の増加）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、4,950百万円（前年同期比9.7%減）、投資活動に使用した資金は、2,253百万円（前年同期比24.3%減）、財務活動の結果減少した資金は、2,957百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は11,090百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,950百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が2,083百万円、減価償却費が3,822百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,253百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が2,979百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,957百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が951百万円、リース債務の返済による支出が989百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年11月8日に公表しました予想から変更はございません。なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,208	12,053
受取手形及び売掛金	18,990	18,191
電子記録債権	6,885	7,819
たな卸資産	12,097	11,975
その他	3,133	2,101
貸倒引当金	△503	△436
流動資産合計	53,811	51,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,655	7,417
機械装置及び運搬具(純額)	6,382	5,975
その他(純額)	10,052	9,835
有形固定資産合計	24,091	23,228
無形固定資産		
その他	542	517
無形固定資産合計	542	517
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	5,196
その他	778	801
貸倒引当金	△71	△75
投資その他の資産合計	5,707	5,922
固定資産合計	30,340	29,668
資産合計	84,151	81,373
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,158	10,076
電子記録債務	6,629	6,706
短期借入金	2,510	2,375
未払法人税等	423	260
賞与引当金	1,202	484
製品保証引当金	472	479
その他	6,179	5,671
流動負債合計	27,576	26,054
固定負債		
長期借入金	1,913	731
退職給付に係る負債	2,154	2,179
その他	1,830	1,283
固定負債合計	5,898	4,194
負債合計	33,475	30,248

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,297	6,297
資本剰余金	6,049	6,052
利益剰余金	35,478	36,237
自己株式	△441	△427
株主資本合計	47,382	48,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,719	1,819
為替換算調整勘定	1,234	833
退職給付に係る調整累計額	10	9
その他の包括利益累計額合計	2,964	2,662
非支配株主持分	329	302
純資産合計	50,676	51,124
負債純資産合計	84,151	81,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	89,908	84,166
売上原価	79,785	75,953
売上総利益	10,122	8,212
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,386	1,979
給料手当及び賞与	1,861	1,772
賞与引当金繰入額	85	83
退職給付費用	65	64
減価償却費	208	129
その他	2,341	2,105
販売費及び一般管理費合計	6,950	6,135
営業利益	3,172	2,077
営業外収益		
受取利息	106	117
受取配当金	126	136
その他	310	222
営業外収益合計	543	476
営業外費用		
支払利息	292	319
為替差損	85	82
その他	93	46
営業外費用合計	471	448
経常利益	3,244	2,105
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	10	22
投資有価証券評価損	40	—
特別損失合計	50	22
税金等調整前四半期純利益	3,194	2,083
法人税、住民税及び事業税	786	668
法人税等調整額	48	6
法人税等合計	835	675
四半期純利益	2,359	1,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,303	1,357



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,359	1,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△766	100
為替換算調整勘定	△779	△414
退職給付に係る調整額	△0	△1
その他の包括利益合計	△1,546	△315
四半期包括利益	813	1,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	765	1,055
非支配株主に係る四半期包括利益	47	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,194	2,083
減価償却費	3,457	3,822
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△713	△718
受取利息及び受取配当金	△233	△253
支払利息	292	319
固定資産処分損益 (△は益)	8	21
投資有価証券評価損益 (△は益)	40	—
売上債権の増減額 (△は増加)	810	△455
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△900	△164
仕入債務の増減額 (△は減少)	244	364
その他	155	853
小計	6,357	5,874
利息及び配当金の受取額	223	242
利息の支払額	△296	△319
法人税等の支払額	△803	△847
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,481	4,950
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△49	901
有形固定資産の取得による支出	△2,552	△2,979
投資有価証券の取得による支出	△380	△53
その他	4	△121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,976	△2,253
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	475	△386
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△1,629	△951
リース債務の返済による支出	△879	△989
配当金の支払額	△665	△665
その他	△65	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,763	△2,957
現金及び現金同等物に係る換算差額	84	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△174	△247
現金及び現金同等物の期首残高	10,912	11,337
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,738	11,090

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。

本基準の適用により、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識しています。本基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首より利益剰余金は67百万円増加しています。

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が155百万円、流動負債の「その他」が19百万円及び固定負債の「その他」が142百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤーハ ーネス関連 事業	福祉機器関 連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	86,955	2,182	770	89,908	—	89,908
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	63	0	65	△65	—
計	86,957	2,246	770	89,974	△65	89,908
セグメント利益又は損失(△)	3,174	16	△28	3,162	9	3,172

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤーハ ーネス関連 事業	福祉機器関 連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	81,259	2,155	752	84,166	—	84,166
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	50	0	51	△51	—
計	81,260	2,205	752	84,217	△51	84,166
セグメント利益又は損失(△)	2,061	28	△22	2,067	9	2,077

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。